

登録コード	UAK02600	開講年度	2026				
授業題目	地域プロジェクト演習			担当教員	丸橋 昌太郎		
				副担当			
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・法学, 2 4 UAカリ・総人社・法学						
	【法学】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析し、法的評価ができる能力を有する。法的な考え方を身につけており、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。				地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析し、法的評価ができる能力を有する。法的な考え方を身につけており、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。		
	2 6 UAカリ・総人社・法学, 2 4 UAカリ・総人社・法学, 2 3 UAカリ・総人社・法学						
	【法学】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、問題解決のための法秩序を構想し、地域・社会に法的に妥当な選択肢を示すことのできる提案力を有する。				多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、問題解決のための法秩序を構想し、地域・社会に法的に妥当な選択肢を示すことのできる提案力を有する。		
(2)授業の概要	地域における典型的な課題として、交通、医療等のテーマを取り上げて、過去の先鋭的な事例研究を通じて、法学的方法論を修得させる。 そして、この方法論を用いて、軽井沢町の協力を得て、地域社会の解決されていない生事案に対して、妥当な解決案を提案させ、多角的にブラッシュアップさせることによって、より実践的な法学解決能力を身に着けさせる。 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とする。ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて事前にお知らせする。						
(3)授業計画	第1回 地域課題と法学的方法論の重要性 第2回 地域における交通事情の現状の把握 第3回 地域における交通事情の課題の抽出検討 第4回 地域における交通事情の課題の法的解決策の検討 第5回 地域における交通事情の課題の法的解決策の提案 第6回 わが国における交通政策の最前線 第7回 地域における医療現場の現状の把握 第8回 地域における医療現場の課題の抽出検討 第9回 地域における医療現場の課題の法的解決策の検討 第10回 地域における医療現場の課題の法的解決策の提案 第11回 わが国における医療政策の最前線 第12回 地域の課題を分析しよう 第13回 分析した結果を踏まえて、類似事案の検討をしよう。 第14回 解決案を地域に発表して、実現可能性について議論しよう。 期末試験の有無 なし レポート課題の出題時期や提出期限等については初回ガイダンス又はeALPSにおいて適宜周知する。						
(4)成績評価の方法	レポート（80％）および各回の授業への積極的参加（20％）により評価する。						
(5)成績評価の基準	地域課題解決に関する法学的方法論について一定程度の理解が示されていれば「水準にある」、正確な理解が示されていれば「やや上にある」、関連する規範の趣旨や背景も含めて考察がなされていれば「かなり上にある」、さらに解決策まで明確に指摘できれば「卓越している」。						
(6)事前事後学習の内容	参考書等の該当箇所を予習して授業に臨むこと。とりわけ、あらかじめ指定する判例について、事実の概要と判旨を確認してくること。						
(7)履修上の注意	刑法、刑事訴訟法の基本的な理解が前提となる。関係授業をすべて履修済みであること。						
(8)質問,相談への対応	原則として毎授業後に受け付けるほか、個別に対応する。						
【教科書】	適宜指定する。						
【参考書】	適宜指定する。						